

3月3日付け日経新聞にカネカの生分解性プラスチック「Green Planet」に関する記事が掲載されました

(要約)

・グローバルのバイオものづくり市場は2040年に約120兆円の市場規模になると推定されている。その中で化学工業は20%超を占めるであろう。米国・EU・中国でも国家戦略として取り組みを強化している。

・日本でも政府が2024年に「バイオエコノミー」戦略を策定した。戦略は○バイオものづくり、○バイオ医薬品・再生医療など、○1次生産など(農林水産業)を骨子としている。

・バイオものづくりとしては企業の取り組みとして、カネカ、味の素、日本製紙、日揮ホールディングなどの取り組みが実験室から社会実装へと動き出している。

・カネカでは高砂工業所で植物油を餌に微生物を大量培養し、生分解性プラスチックの原料樹脂を生み出すプラントを稼働させている。スターバックスコーヒージャパンが紙ストローを廃止し、カネカのGreen Planet製のストロー採用を決めるなど、国内外から注文が舞い込んでいる。次の目標として、CO2を原料とする「究極のバイオプラ」の実用化に取り組んでいる。

・他にも国内他社の取り組みを紹介しています。

以上